

2017年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時：2017年12月19日(火)18:00～19:13

場 所：聖路加国際大学 1階 大会議室

議 長：片岡弥恵子(委員長)

出席委員：片岡弥恵子、鶴若麻理、小野若菜子、小林京子、縄秀志、高橋奈津子、宮坂勝之、松井陽、
中村めぐみ、墨岡亮、鐘ヶ江真知恵、神里彩子

欠席委員：なし

(出席者 12人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 岡 美雪(助産学 博士)

「Effects of Prenatal Group Program in Rural Tanzania: Connectedness with Nurse and Peer Women (タンザニアにおける妊娠期のグループプログラム介入の効果:看護師と妊婦、および妊婦同士のつながりの向上)」

研究責任者(岡 美雪氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
17-A082	保健師の基礎・現任教育のための体系的かつ実効性のある放射線モデルの構築と検証:放射線教育プログラムの試行と評価	公衆衛生看護学	教授	麻原きよみ
17-A083	退院後の切迫早産妊婦への助産師による訪問看護の実施可能性評価	助産学	准教授	片岡 弥恵子
17-A081	健康課題及び解決するための政策に関する地方議員による認識の研究	公衆衛生看護学	修士課程	江口 可南子
17-A084	慢性疾患セルフマネジメントプログラムの効果検証	看護情報学	教授	中山 和弘
17-A085	1年以上糖尿病治療を目的とした受診をしていない時期を持つ2型糖尿病患者が自分の糖尿病と”ゆるやかにつきあっていくこと”を助けるケアプログラムの検討	成人看護学	博士後期課程	米田 昭子
17-A086	看護師が患者を持ち上げる・抱えるケアの実際と腰痛等の発生に関する調査	看護教育学	准教授	奥 裕美
17-A087	妊娠期からの切れ目ない支援の連携体制の構築－現状の分析と課題の抽出－	助産学	教授	片岡 弥恵子

3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	17-A004	妊娠期の女性が初めて乳児とふれ合うことによる生理学的・心理学的変化	助産学	修士	園田 希

変更 申請	17-A061	1歳6ヶ月健康診査において在日外国人幼児の発達をみる 際の保健師の意識	公衆衛生看 護学	修士	藤富 絵里香
----------	---------	--	-------------	----	--------

4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、11月の研究倫理審査委員会議事録の内容について確認がされ、承認となった。
- ③ 事務局より、2018年度研究倫理審査委員会の日程について説明があった。

5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018年1月16日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。